

平成24年6月27日

東日本大震災における広島大学の対応について

第29回学長定例記者会見（平成24年5月25日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

(1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

○ 緊急被ばく医療チームを編成し、福島県へ連続派遣。

平成23年3月12日（土）第1班を派遣し、平成24年6月27日（水）現在までに37班、延べ1,280人を派遣しています。

基本チーム構成は、医師2人（うち1人は救急医）、診療放射線技師1人、看護師1人、事務職員2人の計6人で、第13班（平成23年4月28日出発）以降は一旦、3人体制としましたが、第19班（平成23年5月20日出発）から3～11人体制とし、一時帰宅に伴うスクリーニングに対応するとともに、平成23年7月からは福島第一原発内に設置の「救急医療室」への救急医の派遣も行っており、平成23年11月からは、看護師も順次派遣しています。

2. 放射線量等測定支援関係

○ 文部科学省からの依頼により、平成24年5月から避難指示解除準備区域等における放射性物質の環境モニタリングを実施しています。本学所有の分析機器を用いて、当区域等の水（井戸水及び河川等）に含まれる放射性核種の測定・報告を行っています。（自然科学研究支援開発センターアイソトープ総合部門）

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 山根  
TEL：082-424-6011